

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

東京医科大学消化器・小児外科学での国内外科研修を終えて

群馬大学大学院総合外科学講座肝胆膵外科学

石井 範洋

この度日本臨床外科学会の国内外科研修制度により東京医科大学消化器・小児外科学分野にて外科研修をさせていただきました。このような大変貴重な機会を与えてくださいました日本臨床外科学会の万代恭嗣会長、国内外科研修委員会の高山忠利委員長をはじめとした委員の先生方に心より感謝申し上げます。また、お忙しい中研修を受け入れてくださった東京医科大学消化器・小児外科学分野の土田明彦教授、永川裕一先生をはじめとした教室員の皆さまにも厚く御礼申し上げます。

2021年夏は昨年を引き続きCOVID-19の第5波が日本国内で猛威を振るっており、実際の研修期間となるまでの間、研修が本当に行えるのか不安な気持ちもありました。幸いにも感染が収束傾向となり、学会より研修が決定したとの連絡をいただいたときは大変安堵し、2021年10月4日から10月29日までの4週間に渡り研修をさせていただきました。

東京医科大学は日本有数の膵切除件数を誇り、中でも腹腔鏡下・ロボット支援下膵切除術の実績が大変豊富で、様々な学会や研究会等で永川先生のご講演を拝聴する機会もあり、今後自施設でも鏡視下膵切除を進めていく上で、その技術や術野の展開方法、定型化の工夫について勉強したいと思い今回研修を希望させていただきました。実際の研修期間ではロボット支援下膵頭十二指腸切除術6例、開腹膵頭十二指腸切除術3例（うち門脈再建1例）、腹腔鏡下膵体尾部切除術2例、開腹膵体尾部切除術1例、膵全摘1例、膵胆管合流異常症に対する分流手術1例、肝切除術1例と大変多くの症例を経験させていただき、実際に手洗いをして術野にも多く入らせていただきました。まずはじめに何より驚いたのは、研修初日に門脈合併切除再建を伴う開腹膵頭十二指腸切除術があったのですが、手術時間は約5時間とその驚異的な速さに加え、永川先生の提唱されている神経線維組織をランドマークとした流れるような手術手技と無駄のない美しい術野展開に心を奪われました。その後の研修で、鏡視下手術での展開方法などが開腹手術にも応用されていることを知り、開腹手術と鏡視下手術を別なものとして捉えるのではなく、鏡視下手術にて培われた技術や拡大視効果によって得られた知見が開腹手術にも生かされていることを実感致しました。手術手順はもちろんのこと、各場面での展開方法はすべて定型化されており、永川先生ご自身も展開方法については繰り返しお話をされていて、スタッフ全員が共通の認識を持っていました。手術手技のカンファレンスでは執刀医が自身の手術ビデオを編集供覧し、展開方法など良かった点や反省点などをみんなでdiscussionしながらfeedbackを行っており、これらの積み重ねが先のスピーディーな手術含め、手術の質の向上につながっていると感じました。

また、今回の研修では、鏡視下の膵切除を学ぶことに加えて、自分の中で消化しきれていない膵頭十二指腸切除術の際のSMA周囲の解剖や小腸間膜の処理について学ぶことも大きなテーマの一つでした。手術のない日に永川先生よりスライドを用いた講義をいただける機会があり、その際にSMA周囲の解剖について学びたいとお伝えしたところ、詳細にレクチャーをしていただきました。論文で拝見していた膵頭十二指腸切除におけるA～D領域のこと、SMA神経叢について詳細に解説していただき、またそのメルクマールの具体的な露出方法、タイミングについてご教授いただきました。また、実際の手術の際にはそれらを一つ一つ確認しながら進めてくださり、さらには摘出された標本をみながら解説していただき、論文を読んだだけではわからなかった疑問点が解消され、自分の中でSMA周囲の解剖につい

での理解が深まり、今後の自身の手術手技に活かしていきたいと考えております。

4週間という期間は長いようで、終わってみればあっという間でしたが、土田教授、永川先生をはじめとした肝胆膵外科のスタッフの先生方のおかげで大変有意義な研修を行うことができました。先進施設で手術を学ぶという今回の経験は私自身が肝胆膵外科医として一人前に成長していくうえで、かけがいのないものとなりました。今回学んだ知識や経験を、今後の臨床に活かして自施設ならびに群馬県の医療にさらに貢献して参りたいと思います。最後になりますが、今回の国内外科研修制度に応募させていただくにあたり、日頃よりご指導いただいております群馬大学総合外科の調 憲教授にご推薦いただき、心より御礼申し上げます。また、不在期間中ご迷惑をおかけいたしました。今回の研修を快く送り出してくださった群馬大学総合外科学のスタッフの皆様へ感謝して、日本臨床外科学会の国内外科研修報告とさせていただきます。貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

